

7月14日放送「白虎隊 悲劇の真相」に関して

白虎隊士の自刃については、20人が自刃を決行し、うち1人、飯沼貞吉のみが生き残ったとするのが定説で、会津飯盛山には飯沼貞吉を除いた自刃白虎隊士19士の墓があります。これは出陣した白虎士中二番隊37名のうち、生還しなかった19名に一致します。

一方、一人生き残った飯沼貞吉は、「自刃したのは自分を含め16人だった」と証言したことが、明治20年以降の文献に複数みられます。（「白虎隊事績」中村謙 明治27年「白虎隊実歴談」河北新報記事 明治43年7月3～5日）

自刃19士の墓には飯沼貞吉証言の自刃者に4名が追加されていますが、その中に戦死者が含まれている可能性があります。

さらに、「白虎隊」について研究を重ねる、飯沼貞吉の子孫、飯沼一元氏は、16人説の根拠として、明治2年筆の「白虎隊自刃の図」（作：穂積朝春 所蔵：会津若松市）をあげています。

飯沼貞吉が、戊辰戦争後まもない時期に、飯盛山における自刃の光景を、会津の画家・穂積朝春に語ったものです。穂積朝春は、青龍隊隊長だった貞吉の父の配下にあり、懇意だったため、この光景を絵に残しています。

この時、貞吉は飯盛山で自刃したのは、自分を含めて16人と証言し、穂積は生還した貞吉を除いた15人を描いています。



「白虎隊自刃の図」（作：穂積朝春 所蔵：会津若松市）

なお、「白虎隊自刃は6人」説を主張する井上昌威氏は、番組放送後、今回の番組内での主張を撤回されました。

<資料提供> 飯沼一元（番組内で紹介した「白虎隊 戦いの絵画」、飯沼貞吉の手記「白虎隊顛末略記」も含む）

<参考文献>

文献1 白虎隊事績 中村謙著 明治27年 国会図書館

文献2 白虎隊実歴談 河北新報記事 明治43年7月3～5日

文献3 白虎隊顛末記 会津人群像 No16 平成22年 歴史春秋(株)

文献4 白虎隊士飯沼貞吉の回生 飯沼一元著 2013年 ブイツーソリューション